

鱒沢 ますざわ 広報

令和4年度 鱒沢地域づくり会議通常総会開催される

5月31日(火)午後6時30分から、宮守老人憩いの家で、令和4年度鱒沢地域づくり会議通常総会が開催されました。

はじめに事務局より令和4年度みんなで築くふるさと遠野推進事業補助金が、3月30日の臨時総会で承認された内容のとおり交付決定されたことの報告がありました。

続いて議案第1号令和3年度鱒沢地域づくり会議事業報告、議案第2号一般会計収支決算の承認について、議案第3号特別会計収支決算の承認について、議案第4号規約の一部を改正する規約の制定について事務局から説明があり、議案審議の結果全て原案どおり可決されました。

最後に、議案第5号役員の新選任については、各

自治会総会において自治会役員の改選が行われたこと、並びに副会長1名の辞任があったことから新役員を選任しました。審議の結果、新会長に下鱒沢自治会の小友善衛氏、新副会長に上鱒沢地区自治会の浅利博忠氏が選出され、満場一致で決定されました。

なお、役員の新任期については、令和6年3月31日までと改められました。



→ 通常総会の様子

鱒沢地域づくり会議 役員紹介



多田裕さん

小友善衛さん

浅利博忠さん

● 会長

小友

善衛

(新)

● 副会長

多田

裕

浅利

博忠

(新)

敬称省略

昆 定治 様 (元会長)

多田 博子 様 (元副会長)

～今までお疲れさまでした～

地区まちづくり計画事業 WG (ワーキンググループ)

交流と継承ワーキンググループ

晴天に恵まれた5月29日(日)9時より交流と継承WGメンバーが集合し、第1回目のWGで計画した、上鱒沢の「おなべが淵」の標柱設置と鱒沢の沢に生息している大変貴重な魚である「ハナカジカ」の生息場所の確認を行いました。

また、今年度の計画では、高館の「陣ヶ森」、柏木平の「黄金山発電所取水口」、迷岡の「卯子西神社」の3ヶ所へ標柱を設置する予定です。

→ 新しく設置した標柱とWGメンバー



→ 老朽化した標柱



農と食ワーキンググループ

5月10日(火)18:30から老人憩いの家で第1回目のWGを開催しました。今回は事業計画の一部である“けんちん汁作り”に使用する山菜の収集・保存などについて検討しました。



けんちん汁作りは2月を予定していますが、それまで各自で山菜を収穫・保存する事に決まりました。

次回のWGは10月上旬に開催を予定しています。そこでは白菜の収穫・キムチ作りなどについて検討します。



第1回目のWGの様子

「お鍋が淵」(芦立淵)とは

上鱒沢の中沢と上台の中間、猿ヶ石川がとうとうと流れる岸边に一つの石がありました。里の人はこの石をお鍋が石と呼び、その付近をお鍋が淵と言っています。

ここには昔、鱒沢城があった頃の悲しい物語が伝えられています。時の城主、鱒沢忠右衛門の側室にお鍋という女性がいました。城主の鱒沢忠右衛門が南部の殿様(利直)より罰を受けて殺されてしまい、その子若君の千代松も捕らえられてしまい、お鍋の方は刑を軽くしてもらうよう助命を願い、鞍迫観音に参籠し祈っていました。しかし願いも空しく斬首されることになりました。お鍋は処刑場に急ぎました。そして役人に、是非命だけは助けて下さいと、切にお願いしたのですが、聞かれずついに刃の露となり殺されてしまったのです。その時千代松君は十一歳だったということです。お鍋の方はそれを見るや、半狂乱になりその名を呼びながら走り去り、芦立淵に身を投げたということです。

その後この岩が出たので、里の人々はお鍋が石と言って、この可哀想な母子を供養したそうです。今は洪水などでその石も見えなくなり、川の水がこの淵を流れているばかりです。(長泉寺のカヤの木の下に碑は、千代松君の墓とされています)

宮守村伝説資料「宮守村に伝わる伝説」より抜粋